



Liberal & Democratic

vol.009

自由民主党 蒲郡市議団通信



よびた たかひろ
団長 喚田 孝博

平成から令和の新しい時代となり、蒲郡市制も65周年の節目を迎え、今秋には新しい市長を選ぶ市長選挙を控えるなど、今年は蒲郡市にとって大きなターニングポイントとなる一年だと思われま

す。私ども会派におきましては、先の市議会議員選挙におきまして、2人の仲間を迎え7名となり、市議会第一会派としてのスタートとなりました。

会派といたしましても、喫緊の人口減少、少子高齢化の問題をはじめ、インフラ整備、防災、地域公共交通、子育て・教育、地域福祉の向上等に鋭意努めると共に、リニア新時代を見据え、未来志向で市政発展に取り組んで参りたいと存じます。

市民皆様の温かいご理解とご協力、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



たけうち しげやす
副議長 竹内 滋泰

市民に信頼される議会を目指します。

先般執行されました蒲郡市議会議員選挙で三度市議会の場に送り出して頂くことになりました。ご負託を頂いた市民の皆様のご期待に少しでもお応えできるよう、全力を尽くして職務にあたります。

私は、今回の選挙戦を通じて、2期8年間で取組んで来た事、そして、三期目を目指して取組まなければならないことを訴えて参りました。

今まで取組んできたこと、これから取組まなければならないことは、すべて皆様方のお声によるものであり、お寄せ頂いた声を市政に届ける為に、市議会の場に送り出して頂いたものと肝に銘じています。

皆様からお寄せ頂く声をまさに活動の羅針盤として、少しずつでもやるべきことをやりとげ、期待に応えて参ります。

結びに、5月臨時議会で、私、竹内しげやすは、副議長に選任されたことをご報告いたします。



文教委員長
おおむかい まさよし
大向 正義

老人クラブの支援体制の整備について。

老人福祉法第10条の3には「市町村は、老人クラブその他老人の福祉を増進することを目的とする事業を行う者及び民生委員の活動の連携及び調整を図る等、地域の実情に応じた体制の整備に努めなければならない」とあります。

また、私が蒲郡市老人クラブ連合会会長として出席しました平成24年10月4日、全国老人クラブ連合会創立50周年記念全国老人クラブ大会において、天皇后陛下(現上皇皇后陛下)のご臨席を仰ぎ、「多くの高齢者が、老人クラブの様々な活動を通じて、子供たちや、若い世代とも交流しながら、積極的に社会参加を進めていくことは非常に心強いこととあります。老人クラブが、豊かで活力のある社会を築くために、引き続き大きな役割を果たすことを期待しております。」という【天皇陛下お言葉】をいただいております。

地域包括ケアシステムの確立や支え合う社会をつくるためには、老人クラブの活性化がどうしても必要です。そのためには、現状以上の市の支援体制の整備が求められます。



幹事長
あおやま よしあき
青山 義明

4月の蒲郡市議会議員選挙におきまして、3度目の当選させて頂きました。

蒲郡の発展の為、市民の皆様の幸せの為、精一杯頑張っておりますので、よろしくお願いたします。

6月議会一般質問(交差点の防護柵について)

問:市内の市道、県道の交差点防護柵がない箇所はいくつあるのか。そのうち、設置可能な箇所を伺う。

答:市内の幹線道路の交差点のうち、防護柵の無い交差点は39か所、そのうち20か所が設置可能である。

問:防護柵の設置可能な交差点について、今後の予定は。また、設置困難な19か所の対策は。

答:市が管理する交差点11か所については、6月定例会で補正予算を追加提案し設置していく予定である。県が管理する9か所は、防護柵などの安全対策について強く要望して行く。また、防護柵設置困難な箇所は、車止めやカラー舗装による注意喚起など対策を検討していく。



副幹事長
おおば やすのり
大場 康議

農業用ビニールハウス等の償却資産税の調査及び課題

問:ビニールハウス等の償却資産の申告が長年なされなかった事について市の考え方を伺う。

答:市と納税者双方の認知度不足が招いたものであり反省している。他の事業種にも申告を促し課税に努める。

問:今年度から過去5年度分の遡り課税をする方針と聞くが、近隣自治体や全国の多くの自治体において遡り課税は実地していません。実態調査、分析、申告制度の認知、申告漏れ対策、他の業種にも資産申告を徹底すること等、庁内で対応するためのルール策定を行い今年度から準備を進めスタートすべきであり、遡り課税は課すべきでないとするのが市の考えを伺う。

答:過料や延滞金は徴収しませんが、5年遡り課税は徴収します。市長が公益上の必要性を裁量的に判断して、課税しないことあるいは減免規定に該当させることは租税法律主義において不可能だと判断しました。(但し、今後の農業振興において将来に向けての施策を市長から提示するとの市長答弁がありました)



副幹事長
おおすか はやし
大須賀 林

今回の市議会議員選挙で初当選した新人3人のうち、2人が30代ですが自分は62歳の新人議員です。

気持ちは若い気でおりますのでよろしくお願い致します。

6月議会では地元大塚の課題について市に伺いました。

問:豊岡大塚線の状況は平成9年度着手し18億円かけたものの平成18年度で凍結したままとなっている。事業再開に向けた見通しを伺う。

答:残事業費が大きく市の財政状況では今すぐの再開の見込みはない。まずは大塚金野線の早期事業化を優先し、豊岡大塚線はそのあととなる。

問:大塚海岸(海陽町北)国道23号沿いの悪臭について。

答:事業者に対しては悪臭防止法の規定により、改善勧告をしている。今後とも指導・監督を強化していく。



すずき まさひろ
鈴木 将浩

4月に行われた蒲郡市議会議員選挙で初当選をさせていただきました。ご支援をいただき、深く感謝申し上げます。市民の皆さまからの負託にお答えするべく、住み暮らしやすく、未来に希望の持てる蒲郡を目指し、全身全霊で活動してまいります。

6月定例会では初めての一般質問を行いました。「名鉄西尾・蒲郡線の存続問題」「若者・青少年のまちづくり参画」「持続可能な開発目標(SDGs)」の3項目。いずれも蒲郡の未来を考えたときに、避けては通れない課題であり、また成長には欠かせない事業です。

今後も未来のことを意識しながら、市民の声を市政に反映すべく、しっかりと声に耳を傾け、実行できるように取り組んでまいります。



市政報告会のご案内

日時: 8月25日(日)

14:00受付

14:30開会

16:00閉会予定

場所: 蒲郡商工会議所コンベンションホール

どなたでもご参加自由ですので、お気軽にお出掛け下さい。